

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を構成する国土交通省 地方整備局等の職員定数の充実に関する緊急要請

これまで全国各地で発生した災害時においては、国土交通省が全国の地方整備局等の職員を「TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）」として被災自治体へ派遣され、迅速な物的・人的及び技術的な支援を積極的に行われており、被災した中核市では、これが早期復旧はもとより、その後の計画的な復興につながっている。また、近年は台風や地震、局地的集中豪雨など、自然災害が多発し、TEC-FORCEの派遣機会も増加している状況にある。

中核市においては、市民の安全・安心を確保するため、限られた人員の中、防災・減災の体制を強化するとともに、災害時に地方自治体間で相互に応援を行うなど協力関係を構築しているが、それだけでは限界があり、災害からの復旧・復興には、国による、より高度な技術的支援と専門的な見地に立った支援が不可欠である。

近年の状況を鑑みれば、今後も毎年、自然災害が発生することは確実であり、国民の生命・財産を守るための防災・減災の取組は、国と地方自治体が一丸となり、危機感を持って取り組む必要がある。

上記の趣旨をご理解いただき、府省を超えた戦略的な取組として、国の行政機関の機構・定員管理を行うに当たっては、災害時に緊急災害対策派遣業務にも携わる地方整備局等の職員の定数について、更なる充実を図っていただくよう要請する。

令和元年10月4日

中核市市長会